市民の声

3月3日の本会議、「農家仲間のお母さんたちの勉強グループで、結成して15年以上経っています」という、雄物川町・ひまわり塾のみなさん6名の、傍聴記を紹介します。

❖女性だけで春3月ひな祭りの日に、何度目かの議会傍聴です。これからの私たちの身近な生活に直接かかわる質問まで、市側の意見が聞けてよかった。もっと友達を誘い、傍聴に足を運びたい。

❖毎年変わる農政（減反政策）に、追いついていくのが大変。もう少し具体的に質問してほしかった。

❖日常生活や農業に密着した質問があり、おおいに関心を持って聞いた。一市民としては角度の違う質問をしたいような気にもなり、そこにズレを感じた。

❖今回の窓口での不祥事、納税組合の復活も考えてはと思った。

❖市の様ざまな事柄が決定されていることを知り勉強になりました。質問する側も答える側も、まじめに一生懸命答えていたと思います。次回もぜひ聞きたいです。

❖いつもながらピンと糸の張った緊張感のある会議場。

❖傍聴したいと思っていましたが、実現できて良い経験でした。

❖もっと多くの市民が傍聴する機会を持てたらと思った。

……＊……＊……＊……

《議会広報委員会より》

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

市議会では、この広報紙のほか、地域局やインターネットでの議会中継で、議会のようすをお伝えしています。

ご提案のあった、市民のみなさんの傍聴の機会を増やす手立てを検討し、実行してまいります。

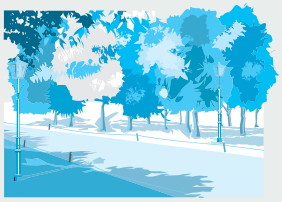
魅力ある横手市の取り組みは、なに？

～平成20年度の行政視察受入れ状況のあらまし～

行政視察は、議会の常任委員会などが、自分たちの自治体の事業評価や政策課題の解決に向けて、先進的な事例や先駆的な取り組みを現地で調査するものです。

昨年度、横手市議会に、北は北海道富良野市から南は沖縄県沖縄市まで、全国24の自治体から、延べ175名の議員が、魅力ある横手市の取り組みを視察に訪れました。

視察件数が5件と、最も多かったのは、市民の健康増進と健康管理・疾病予防を目指す健康の駅事業で、全国でも独自の取り組みに対し、市の担当職員と活発な質疑が交わされました。また、実際に健康の駅で、活動も体験していただきました。

このほか、地域に根ざした医療活動の展開と自治体病院では難しい黒字経営を続ける大森病院の経営の取り組み・食と農からのまちづくりや発酵文化への取り組み・事業仕分けや行政評価などの行財政改革への取り組みなども、全国の自治体から注目されています。

横手市議会では、これからも、地域に根ざし、市民とともにまちづくりに取り組む横手市を、全国に情報発信してまいります。